

2021 年度(令和 3 年度)

事業計画書



公益財団法人キープ協会

目次

2021 年度 事業計画の方針・重点項目	3
.....	
公益Ⅰ. 環境保全及び環境教育の研究と教育・普及に関する事業	4
1. 環境教育	
2. 「～八ヶ岳環境と文化のむら～山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター」 指定管理業務	
3. 環境省日光国立公園「那須平成の森」運営管理業務	
4. 山梨県地球温暖化防止活動推進センターの指定受託	
5. 環境研究所	
6. 地域における環境教育事業	
公益Ⅱ. 高冷地での農業生産及び地域農産物の高付加価値化に関する事業	6
1. 生産農場として	
2. 教育農場として	
3. 食育として	
公益Ⅲ. 青少年をはじめとする多様なコミュニティに対して体験・研修・合宿を 提供する事業	7
1. 清泉寮	
2. 自然学校・キャンプ場	
3. ポール・ラッシュ記念館	
公益Ⅳ. 国際交流・協力及び地域社会の活性化に関する事業	9
1. 国際交流事業	
2. 地域連携事業	
公益Ⅴ. 幼児の育成と子育てに関する事業(清里聖ヨハネ保育園)	11
1. 保育の質の向上	
2. 「異年齢児保育」と「森の保育」の継続	
3. 自然のリズムを大切にした食事の推進	
4. 園舎内及び周辺環境整備	
5. 視察・研修の受け入れ	
6. 他部署(自然学校及び環境教育事業部)との連携	
7. 保護者や地域の方々との協働	
8. 卒園児のバックアップ	
9. 地域のニーズに合わせた子育て支援	

収益Ⅰ. 自家製造食品及び地域特産品等の普及・販売等	12
1. 2021年度重点業務	
2. 通常業務	
収益Ⅱ. 宿泊設備を使ったホテル事業	13
1. 清泉寮	

本部（管理部門）	14
1. 総務	
2. 経理	
3. 施設	
4. 企画部	
5. 団体営業	

2021 年度 事業計画の方針・重点項目

公益事業に係る中長期計画に基づき、2021 年度事業計画を検討・実施します。

■公益事業重点項目

1. 教育機能の強化：

教育研修、環境教育、保育等を通じ、世代や立場を超えた人々のための学びの場を創出します。

2. 農場の強化：(一番美しい牧場プロジェクト)

景観やお客様に配慮した設備・案内看板類を充実させます。

3. 地域社会への貢献：

研修交流、農場、保育園等、各種事業部を通じて地域社会の健全な発展に寄与します。

【収益事業重点項目】

新型コロナウイルス前の収益水準を取り戻す

公益財団法人としての活動を支える収益構造の再構築

1. 体制見直し：

コロナの影響を受ける以前の事業活動ができるように体制を見直し、再構築します。

2. お客様を迎える態勢整備：

施設等の整備、プログラムの充実と利便性の向上に取り組みます。

3. 新型コロナ前の収益力確保：

各事業部の業務を見直し、効率的且つ強固な事業運営を目指します。

4. 人材育成強化：

「人材の育成」に取組み、職員教育・研修の実施や人事制度の見直し等を行うとともに、職員が働きやすい職場環境作りに取り組んでいきます。

公益 I. 環境保全及び環境教育の研究と教育・普及に関する事業

～ 環境教育のレベルアップへの貢献 ～

1. 環境教育

環境教育研究とヤマネの総合的な研究蓄積を基盤に、市民・学校・企業・行政など多様な主体との協働による環境教育事業および環境保全事業を、清里・那須および国内外で展開し、持続可能な社会実現に寄与します。

(1) キープ・フォレストーズ・スクール

① キープ・フォレストーズ・スクールの役割

ESD・総合的な環境教育の推進、環境教育プログラムの提供および研究・開発、環境教育ネットワークの支援、「インタープリター」の役割の普及

② 2021 年度の重点目標

1. 新規ニーズの開拓
2. オンラインを含めた活動展開
3. 森の多面的活用（ワーケーション、リトリート、森のようちえん等）

③ 主催事業

「実験」「協働」をキーワードにした魅力的なプログラムの開発・実施

④ 受託事業

自然体験型環境教育プログラム、人材育成事業、教材開発、CSR 事業、講演、執筆等

⑤ 指導教育

職員教育、研修生・インターン生の受入れ

(2) 清泉寮やまねミュージアム

① やまねミュージアムの役割

ヤマネの総合的な研究への協力・情報の蓄積、ヤマネ研究者とのネットワーク構築、森林生物多様性保全の提案への協力、環境教育・環境保全策の普及啓発

② 2021 年度の重点目標

これまでの研究成果の教育への展開、プログラム化と地域への普及。研究を活かした教育事業の館内展示等で発信と情報蓄積。論文発表・学会発表・シンポジウムへの協力。オンライン館内ツアー等、コロナ禍の中で展開された新たな実践の普及。

③ 2021 年度の事業計画

国内外での総合的なヤマネ研究・保護および生物多様性研究の推進への協力。アニマルパスウェイの国内外の開発と普及への協力、国内外の研究者との連携・情報交換・共同研究、研究成果を活かした展示や環境教育プログラムの開発・実施、「やまねミュージアム」の管理運営、ヤマネ関連グッズの開発・販売、老朽化する建物の維持・管理・補修、ボランティアとの連携。

2. 「～八ヶ岳環境と文化のむら～山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター」指定管理業務

第4期3年目の指定管理業務を担当します。山梨県及び八ヶ岳エリアの環境教育センターとしての役割を発展させることを目指し、事業の企画運営や施設の管理を行います。

(1) 山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンターの役割

自然環境に関する情報と学習の機会を提供することを通して、山梨県の良い環境の保全と継承に貢献します。

(2) 事業内容

基本方針ならびに運営目標等に基づいた事業（館内展示、自然体験プログラム、企画事業等）の実施、施設及び設備の維持管理、自然ふれあい施設としての機能（自然調査、教材開発）、

周辺の文化施設や地域にあるネットワークとの連携、ボランティアとの協働、利用促進業務、自主事業（環境教育関連書籍やグッズの販売、スノーシューの貸し出し等）の実施

3. 環境省日光国立公園「那須平成の森」運営管理業務

「那須平成の森（フィールドセンター）」の運営管理を請負って11年目（1期3年として第4期の2年目）の業務を担当します。

(1) 2021年度の重点目標

第4期の主たる取り組みとして、「明日の日本を支える観光ビジョン構想会議（議長：内閣総理大臣）」で決定された「国立公園満喫プロジェクト」に係る事業の中で、那須平成の森を「日本の自然ふれあい施設における人材育成事業の拠点とする」事業を実施し、那須平成の森事業の柱のひとつとして確立すべく努めます。また2023年度からの第5期に向けて、恒久的で持続可能な那須平成の森運営管理の方策を環境省と協力して検討していきます。

この他、コロナ禍の中、新たな生活様式によって起きる国民の行動変容の推移を慎重に分析し、環境省、栃木県、JR、観光協会等、地域の関係者と協力して那須への誘客、自然体験プログラムへの参加者増対策に積極的に取り組みます。

(2) 事業内容

(1)の人材育成事業の他、主催事業である「インタープリターと歩く那須平成の森ガイドウォーク」、「自然体験・学習プログラム」、「無料ミニプログラム」、受託事業（学校団体等のプログラム）を推進する他、提案書に記した6つの展示、9の自然教育プログラムについて順次実施していきます。また、国立公園満喫プロジェクト関連の各種業務の実施、国立那須甲子青少年自然の家（福島県）との連携を深めると共に、公園の環境維持管理等、那須平成の森の運営と管理を円滑に行っていきます。

4. 山梨県地球温暖化防止活動推進センターの指定受託

7年度目（1期5年2期目の2年目）の地球温暖化防止活動推進センター業務を行います。

- (1) 地球温暖化の現状及び地球温暖化対策の重要性についての啓発及び広報活動
- (2) 地球温暖化防止活動推進員及び地球温暖化対策の推進を図るための活動を行う民間団体の活動支援
- (3) 日常生活に関する温室効果ガスの排出抑制のための措置についての照会、相談及び助言
- (4) 日常生活に関する温室効果ガス排出実態についての調査、分析への協力
- (5) 定期的又は時宜に応じた上記調査分析結果の提供

5. 環境研究所

環境教育事業部の機能の1つとして、事業部横断的に研究活動を行います。

- (1) 環境保全研究（清泉寮やまねミュージアムを中心として）
- (2) 環境教育研究

植林・森林保全作業を通じた環境教育の研究および実践、環境教育実践の整理・研究・発表、指導教育に関する研究

6. 地域における環境教育事業

地域との協働を通じた環境教育事業に取り組みます。

(1) 事業内容

地域の教育機関・福祉機関等への協力、やまなし環境教育ミーティングの開催、森の楽童など地域住民への環境教育、地域内各種ネットワークへの参画
北杜市内小学生のやまねミュージアム入館無料対応

公益Ⅱ. 高冷地での農業生産及び地域農産物の高付加価値化に関する事業

～ 地域農業の活性化 ～

1. 生産農場として

- (1) 標高 1,250m～1,400m の高冷地、傾斜地で 2020 年度に引き続き飼育総頭数 90～100（内訳：成牛 60、育成牛 15、仔牛 10、雄仔牛 15、）搾乳頭数は、年間平均 48 頭とし、総生産量は、170,000 kg（タカハシ乳業への出荷乳量は 162,000 kg 哺乳量 8,000 kg いたします）。
その為に、繁殖管理等の日常管理の技術的向上に努めます。
また、安心安全にこだわった、有機 JAS 牛乳の生産に努めます。
- (2) 粗飼料の完全自給を目指し、圃場（採草地 27.8 ha、放牧地 21.4 ha）の生産性向上に努めると共に環境整備（牧柵）に努めます。
- (3) 牧草地に堆肥、尿等の散布を行い、循環型酪農に努めます。
- (4) 山梨県畜産課、畜酪総合センター・家畜共済の協力のもと、家畜衛生管理に努めます。
- (5) 継続事業として、環境負荷軽減型酪農経営支援事業助成金を取得いたします。

2. 教育農場として

- (1) 後継者育成及び学習の場の提供として、短期及び長期実習生、大学等の学生・研修生の受け入れを行います。
- (2) 他部署と連携して学校団体向けの体験プログラムを提供していきます。
- (3) 一般のお客様向けの体験プログラムの場所を提供します。

3. 食育として

- (1) 「食育」の一環として、清泉寮有機 JAS ジャージー牛乳の普及及び関連乳製品の開発、普及活動を行います。
- (2) 「雄仔牛、交雑種」を肥育して牛肉の生産を行い、食材として提供していきます。

公益Ⅲ. 青少年をはじめとする多様なコミュニティに対して体験・研修・合宿を提供する事業

～ 地域のランドマークとして地域活性化に貢献 ～

1. 清泉寮

公益財団法人キープ協会の中核施設としての使命と役割を果たすと共に、研修宿泊施設として、利用に際して求められる施設・設備・食事・プログラム・スタッフ等、受け入れ体制の整備と向上を図ります。

- (1) 最も力を入れている教育旅行を中心に、企業・各種団体の宿泊研修の獲得と利用団体の研修効果・満足度の向上を図り、将来的には、宿泊研修団体のニーズに合った宿泊棟の建設も視野に入れた事業展開の検討を進めます。
- (2) 教育旅行団体や個人・グループの宿泊者を対象に、清泉寮ジャージー牧場を舞台にした体験プログラムを様々な形で提供することで、食育と合わせて、長年取り組んできている循環型酪農事業を紹介する機会を積極的に作ります。
- (3) 環境教育事業の一環として、豊かな自然環境を最大限に活かした自然体験中心の教育プログラムを積極的に提供します。
- (4) 地産地消をベースにした安全安心な手作り食事の提供、食育プログラムの実施、地域生産者の生産物や情報の発信を通して、食育活動の推進や地域社会への貢献を継続して行います。
- (5) 季節感と地域への貢献を重視した宿泊パックの設定や、各種イベントの開催等を通じた社会貢献事業をコロナ禍の社会状況に合わせた適切な形で、継続します。
- (6) 行政機関の協力や指導を仰ぎながら、本部、施設部と連携した施設の修繕・整備計画や、消費エネルギーの削減に積極的に取り組むことで、地球環境にも配慮した安全かつ適切な事業の継続を図ります。

2. 清泉寮自然学校・清泉寮キャンプ場

通年営業の自然学校、夏季（7月～9月）営業のキャンプ場は、団体・グループ・家族利用を中心とした研修宿泊施設として、青少年育成、健康増進、食育、地域貢献、キャンプ活動の推進などを目的とした取り組みを継続していきます。

- (1) 体験型の研修宿泊施設として、受け入れに際して必要な人材、設備やプログラムの充実を図りながら、小学校から大学・各種学校まで、教育旅行団体の受け入れを積極的に行います。
- (2) 幼児教育を研究・実践する大学・専修学校、また保育園・幼稚園・こども園の職員や園児、保護者等、幼保教育関連団体の受入とプログラムの提供を積極的に行います。
- (3) 地域の農家と連携し、安全安心で健康的な食材の提供やメニュー開発を行うと共に、清泉寮と協働して食育を推進します。
- (4) 豊かな自然環境を活かした自然体験、生産牧場である清泉寮ジャージー牧場での酪農体験をテーマとしたプログラムを実施するとともに、将来を展望したプログラム開発や人材育成を計画的に進めます。
- (5) 環境教育事業部、酪農事業部、清里聖ヨハネ保育園、清泉寮、企画部などキープ協会各部署と連携した、子どもキャンプ、親子キャンプ、英語キャンプといったキャンプ活動を、地域の児童、学生、学校の他に、一般募集型も加えて展開します。

3. ポール・ラッシュ記念館

公益財団法人キープ協会の根幹であるポール・ラッシュ博士の業績を広く紹介する仕組みづくりを進めると共に、キープ協会の広報・教育機能の一端も担っていきます。

- (1) 博物館として、ポール・ラッシュ博士の業績や歴史を紹介する通常の開館業務のほか、博士に関する資料のデジタルアーカイブ化作業の継続を始め、収蔵資料や美術品の保存・管理業務、歴史的建造物としてポール・ラッシュ邸の修繕・保護・活用に努めます。
- (2) 時期ごとに変化のある企画展を年数回行うと共に、周年記念事業と連携した特別企画展を催します。
- (3) 日本アメリカンフットボール協会から寄託されている日本アメリカンフットボールの殿堂において、今年度も来館者にアメリカンフットボールに触れる機会の提供、競技の普及活動を行ないます。
- (4) 博物館として、県・市や対外的な機関との連携や、メディアや SNS を駆使した広報活動を積極的に展開します。
- (5) 文化庁の研修を修了したミュージアムエデュケーターが在籍する施設として、博物館での教育普及事業を進めます。
- (6) 前年度に引き続き、公益Ⅳ 国際交流・協力及び地域社会の活性化に関する事業のうち「1. 国際交流事業」(1) (2) (3) (5)について担当部署と協働します。
- (7) 地域の博物館・美術館等が参加する八ヶ岳ミュージアム協議会の創設館として、地域ミュージアムとの連携を続けます。
- (8) 地域へ良質な文化を届けることを目的に、他部署と連携をし、音楽会などを開催します。
- (9) 学校・ミュージアム等の教育機関、企業等から受託事業として講演、執筆等を行います。
- (10) 立教大学でボランティア活動を行う学生を対象に、ポール・ラッシュ博士記念奨学金を給付します。
- (11) 新型コロナウイルス感染拡大状況下でのインターネットを活用した新たな博物館の取組を実践します。

公益Ⅳ. 国際交流・協力及び地域社会の活性化に関する事業

～ 新型コロナで中断された事業の再開に向けて ～

1. 国際交流事業

「異なるものをつなぐ」「青年への希望」を軸に、国際交流を通じた青少年育成および地域貢献を目指します。地域の学校や国内外の大学・NGO等の多様なコミュニティと連携し、事業内容の充実と発展に取り組みます。また、各国の新型コロナウイルス感染拡大状況を注視し、交流事業の実施における安全性の確保と配慮に努めます。新たに、オンラインでの教育・交流プログラムの開発に取り組みます。

(1) ケンタッキー交流事業【北杜市受託事業】

北杜市とケンタッキー州との姉妹地域間交流事業の実施に協力し、小中学生から大人までの幅広い年齢層の友好親善と、ポール・ラッシュの理念の普及と継承を図ります。

- ① 北杜市代表団訪米事業(5月)
- ② 中学生ホームステイ交流事業(7～8月)
- ③ マディソン郡代表団受入事業(10月)
- ④ 日米文化交流(北杜市交流員派遣5月、マディソン郡交流員受入10月)
- ⑤ 子ども絵画交流(通年)

(2) 国内外のインターン生の受入れ(5～12月)

日本・アメリカ・フランス・フィリピン等から青年を受け入れ、青年の学びと実践の機会を提供し、ポール・ラッシュの理念の継承を図ります。

(3) 地域への国際理解プログラムの実施(通年)

地域の青少年育成と地域社会への貢献を図るため、環境教育、国際理解・英語教育等の分野で事業協力を行います。

- ① 地域での主催英語教育プログラムの提供
国際交流をキーワードに、海外インターン生と共に、地域の子どもから大人へ独自の英語教育プログラムを提供します。
- ② 北杜市立甲陵高校 SSH(スーパーサイエンスハイスクール)事業への協力
SSHは先進的な理数系教育による創造性豊かな人材育成を目的とした文部科学省主管の事業。その指定校である甲陵高校の設定する課題「グローバルに活躍する人材の育成」「社会との共創」に対し、英語でのプログラムを提供し、青年の育成および地域への貢献を図ります。また、「公益 I.」で行う環境教育事業と連携し、さらなる教育効果の向上を図ります。

(4) 絆プロジェクト【ピース・フィールド・ジャパン主催】への協力

イスラエル・パレスチナ・日本の青年平和交流プログラムの受入を通して中東の平和構築、青年の国際理解・親善に寄与します。

(5) 北フィリピン青年育成事業への協力(通年)

インターン生の受入、現地の青年事業への協力等を行います。

(6) 国際交流団体・公的機関との連携(通年)

山梨県国際交流協会、国際交流北杜地域連絡協議会等の諸団体との連携を図ります。

～ 地域連携の健全な発展に貢献 ～

2. 地域連携事業

(1) 地域連携業務

- ① フードバンク山梨や北杜市社会福祉協議会等と連携し、貧困な環境に置かれた子供たちの支援を行います。
- ② NPO 法人清里観光振興会に理事として関わり、組織運営に積極的に参画します。

- ③ 八ヶ岳観光圏事業や清里観光振興会等の地元各種団体・組織と連携し、歴史・文化・観光等の側面から地域連携を推進します。
- ④ 八ヶ岳音楽祭をはじめ、地域の音楽活動に発表の場を提供するとともに、活動を支援していきます。
- ⑤ 写真展・絵画展等の発表の場を提供するとともに、地域の芸術活動を支援します。
- ⑥ 地域団体と連携して美化・清掃活動を定期的に行います。

公益 V. 幼児の育成と子育てに関する事業（清里聖ヨハネ保育園）

- ～ 育児・子育て支援を通じた「地域社会の健全な発展」に貢献 ～
- ～ 幼児の育成 ～ 幼児の主体性を大切に・豊かな感性を育む

「一人ひとりを祝福する保育」を保育目標に掲げ、「森の保育園」のコンセプトのもと、地域資源である豊かな自然環境を積極的に活かした保育活動に取り組みます。また、地域に開かれたコミュニティセンターとして、地域における教育や子育てに関わる事業に積極的に取り組み、地域社会の持続可能な発展に貢献します。

1. 保育の質の向上

今年度も引き続き、「キリスト教保育」「森の保育」「野外活動におけるリスクマネジメント」「各部門における理解」の4点について、質の向上を目指します。チーム力向上のため、スタッフ全員参加の園内研修を実施し、また個々のスキルアップのため外部研修への参加を進めます。

2. 「異年齢児保育」と「森の保育」の継続

従来の保育方針を継続し、森の保育活動の実践を充実させ、それを基にした森の保育のカリキュラム作りに取り組みます。また、異年齢児グループと年齢別グループの、それぞれの良さを組み合わせた活動や生活を展開します。

3. 自然のリズムを大切にしたい食事の推進

自然のリズムに配慮した生産活動への理解や、旬の食材利用、生産者の方々とつながりを大切にしたい食事や食育に取り組みます。また、引き続き、アレルギー対応食の提供や、「食」の体験活動にも積極的に取り組みます。

4. 園舎内及び周辺環境整備

保育園での暮らしをより充実させるため、新園舎内及び周辺環境整備を長期的ビジョンの下 計画的に進めます。特に、「森庭」の整備を重点的に進めます。

5. 視察・研修の受け入れ

自然学校や清泉寮と連携して、各種保育団体や学校等の視察・研修の受け入れに取り組みます。

6. 他部署(自然学校及び環境教育事業部)との連携

自然学校や環境事業部と、フィールドの使用や整備での協働にに取り組みます。また地域主催の「森の楽童」においてはフィールドにおいての協力等を行います。

7. 保護者や地域の方々との協働

「大屋根マルシェ」「文庫活動」等地域の子育て支援、幼児教育の向上を目的とした活動に対して園舎を提供し、保護者や地域の方々と共に創り実践を重ねます。

8. 卒園児のバックアップ

次世代の青少年育成支援のため、保護者主催の「卒園児キャンプ」への協力を行います。

9. 地域のニーズに合わせた子育て支援

地域の子どもたちを受け入れるための体制を、行政と協力しながら整えるとともに、働く保護者のための支援を行います。

収益 I. 自家製造食品及び地域特産品等の普及・販売等（製販事業部）

公益財団法人キープ協会が行う公益事業の経済的基盤を支えるため、自家製品や地域特産品の販売等を中心とした様々な事業により、収益の確保を図ります。

1. 2021 年度重点業務

(1) 新POSシステム導入による業務改革

- ①最も集客の多い清泉寮ジャージーハットにセミセルフレジを配置し、繁忙期における会計の効率化と人員削減を図る。
- ②各種キャッシュレス決済に対応し、会計の利便性と効率化を図る。
- ③自動釣銭機の配置や会計システム連動など、自動化を進め、現場作業の軽減を図る。

(2) 清泉寮ファームショップ レストランのセルフサービス化

- ①食事提供の効率化および席数増加により、待ち時間の短縮と提供食数の増加を図る。
- ②フロア業務の効率化により繁忙期における人員削減を図る。

(3) キープ内客単価の向上を図る、お客様の滞在時間延長化

- ①清泉寮ジャージーハットを中心とした運営
- ②店舗間連携による複数店舗の利用促進
- ③居心地の良い環境・空間の整備
- ④購買意欲を増加させる運営および接客サービス
- ⑤子どもを対象とした運営および設備の充実

(4) お客様から共感を得るための職員教育

- ①キープの一員としての意識向上
- ②接客・サービス研修
- ③あらゆる商品知識の習得

2. 通常業務

- (1) 店舗運営（清泉寮ギフトショップ・清泉寮ジャージーハット・清泉寮ファームショップ、清泉寮新館売店）
- (2) 通信販売およびインターネット販売
- (3) 商品開発
- (4) 清泉寮ソフトクリームおよびジャージー乳製品の出張販売
- (5) 地域生産品およびフェアトレード製品などの公益性のある製品の積極的な利用と販売
- (6) 「人と地球の健康」をキーワードとした観光地での安心出来る食の提供
- (7) 集客を図る効果的な宣伝広報
- (8) ホームページを利用した情報発信
- (9) 店舗周辺の環境美化およびガーデン管理
- (10) 購買の一元化による効率的な仕入・在庫管理
- (11) 業務の効率化によるコスト削減
- (12) 各店舗間における職員・スタッフの柔軟なシフトによる人事の効率化

収益Ⅱ．宿泊設備を使ったホテル事業

1. 清泉寮

キープ協会が行う公益事業の経済的な基盤を支えるために、一般のお客様の宿泊や食事、パーティーやブライダル等の受け入れを進め、収益の確保を図ります。

- (1) 新しい予約システムの導入で効率的なオペレーションに取り組むとともに、複数の予約サイトの活用や、宿泊・食事プランの細かな設定を行い、客室稼働、喫食数を拡大し、収益の増加を図ります。
- (2) 多彩なプログラム、地産地消を重視した食事や、抜群の景観と豊かな自然環境等、他施設にはない優位性を活かした効果的な集客を図ります。
- (3) 立寄り利用者向けの本館レストランは、季節に合わせた新たなメニューの展開と合わせて通年営業するとともに、地域の団体や組織を対象とした各種パーティーや、ブライダルの受け入れをコロナ禍の社会状況に合わせた適切な形で進めます。
- (4) 清泉寮利用者の拡大や、インターネットやSNSを生かした効果的な情報発信を行い、清泉寮を中心とした、キープ協会全体の商品・サービスを紹介することで支援者の獲得に繋がります。

本部(管理部門)

公益財団法人の管理部門として、総務・経理・施設・企画・団体営業の各部を置きます。

1. 総務

- (1) 法人の運営
- (2) 関係団体との窓口
- (3) 職員の管理、福利厚生等

2. 経理

- (1) 法人の財務管理

3. 施設

- (1) 法人の施設の維持、管理、修繕
- (2) 施設更新に関する意見具申

4. 企画

キープ協会全体の情報を収集・管理し、プレスリリースや広報媒体による発信を行う。

- (1) 商品・景色・プログラム等の画像・動画撮影による素材収集
- (2) 画像・動画ライブラリー整備
- (3) 清泉寮・キープ協会のWEB管理
- (4) SNSを活用した情報発信 (Facebook、Instagram、Twitter の連携)
- (5) 季節ごとの魅力を配信する画像・動画作成
- (6) プレスリリース配信管理
- (7) メールマガジン配信管理
- (8) 宿泊プラン・イベント等の営業に係る進捗管理

5. 団体営業

キープ協会を利用する学校・団体等のお客様の満足度を高め、安全・安心なサービスを提供する。また、公益事業を支える基礎とすべく、立ち寄り団体等の集客営業に取り組む。さらに、キープ協会内の団体情報を一元化し、活用する体制を整える。

- (1) 新規営業対象先、エージェント、既存利用団体の情報を集約し、新規・リピーター営業を展開
- (2) 清泉寮・自然学校の宿泊団体獲得
- (3) レストラン立ち寄りランチ団体獲得
- (4) 売店・ソフトクリーム利用の立ち寄りバスツアー獲得
- (5) レストラン各種パーティー (忘年会・新年会・謝恩会・ブライダル) 獲得